

五輪で躍動！村上めぐみ選手

日本代表として東京五輪女子ビーチバレーボール競技に初めて出場した村上めぐみ選手は惜しくも決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、世界の強豪相手に闘志あふれるプレーで旋風を巻き起こしました。



一次リーグの対戦は、チエコ、ドイツ、スイスといずれも世界ランキングでは格上のチーム。しかし、最終戦の対スイス戦では村上選手が4連続でエースを決め、第一セットを先取。最も村上選手らしい記憶に残るセットとなりました。この日は、小浜研修セン

ターに水野社長以下約30人の社員が万全のコロナ対策をして集合。普段顔を合わすことが少ない各所の社員もそろいの法被を着て心を一つに一致団結声援を送っていました。



試合後、村上選手は、「長きにわたり、ご支援ご声援、本当にありがとうございます！勝ち上がっていきことはできませんでしたが、ここまで辿り着くことができ、最後まで戦えたことに、達成感を感じました。多くの方々の支えがあり、選手としてオリンピックの舞台に立つことができました。この経験はとてつもなく貴重なものとなりました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。」と語りました。



オリンピック期間中の福井新聞だけを見ても「所属オーイング」の表記が16回報道されました。幅口コーチと共に福井国体を目指して結成されたオーイングビーチバレーボールチームは、愛媛国体優勝

福井国体準優勝と着実に実績を積み重ね、夢の五輪出場をかなえました。一步一步確実に努力を積み上げていくその姿は、オーイングの企業イメージアップにも大いに貢献してくれました。



日本代表ペア
 石井美樹 村上めぐみ



コンプライアンス推進室便り

7月12日、小浜研修センターで第五回のコンプライアンス委員会が開かれました。6人の委員(うち社外委員は3人、任期1年)全員が再任され水野社長から委嘱状が交付されました。委員長には多仁照廣氏(元敦賀短期大学教授)が委員の互選で選任され2期目がスタートしました。



委員会ではコンプライアンス推進状況について、コンプライアンス推進室事務局から説明が行われ、社員個々人の労働環境の改善に繋がる「個々面接」をスピード感を持って進めるため

6月7日に所属長に対して推進を依頼したことなどが報告されました。委員からは「社員各自がオーイングという会社で何を自己実現したいのか問うては？」(多仁委員長)、「個人情報との兼ね合い、プライバシーの侵害にならないよう配慮が必要」(國久委員)「会社での業務に関することを、一番上位に問うようにすべきでは？」(三宅委員)等の意見が出されました。

また、組織体制の整理について、組織改革担当部長を配置し業務の役割分担見直しを進めていることが報告されました。通報・相談事案の対応状況については自動車運転に係る事案や社員間でのトラブルとその対応について報告があり委員からは適切と承認されました。

委員からの提言は、「胆(キモ)になる人たちがどのようにに部下を掌握しているか。改めて管理職の教育人間の幅を広げる上でも組織を活性化するよう目を向けて欲しい」(國久委員)。「地域の活動にコミットしていく、積極的に地域に関わっていく前向きなコンプライアンス活動というものもあるのではないか」(三宅委員)。「前を向き、勢い、希望、将来像を持つ。その中で地域貢献を進めて欲しい。」(多仁委員長)等の提言がありました。次回は、10月中旬に開催される予定です。



炭本ビーチバレー優勝

ビーチバレーボール部の新しい特練生、炭本実咲選手がビーチバレー全日本選手権県予選会で優勝しました。大会は6月27日に福井市の鷹巣海水浴場特設コートで行われました。今後の活躍が期待されます。



ワクチンに二役

収束の見えない新型コロナウイルスの感染拡大を抑えようと全国市区町村ではワクチン接種のスピードアップが急がれています。若狭支店、甲賀湖南支店ではワクチン接種の補助業務を受託して会場運営や受付等で地域に貢献する役割を担っています。

5月21日から始まった65歳以上の高齢者接種では優しく丁寧な対応が求められ、両支店では他の支店からの応援を求めこれまでにのべ約270人が業務に当たって来ました。



「地域社会への貢献」という企業理念と共に前向きなコンプライアンス活動とも言える業務です。

感謝状に心新た

海上保安学校70周年記念感謝状贈呈式が舞鶴市の同校で盛大に開催され、江口圭三学長様から弊社をはじめ18の個人・団体に感謝状が贈呈されました。また、同校の学生代表からも力強い感謝の言葉を頂きました。



感謝状

株式会社オーイング 殿

貴社は本校内施設の清掃及び管理部門事務を適切に行われ学校運営に大きく貢献されました

とて閉校七周年にあたり心深く感謝の意を表します

令和五年七月日

海産学校 江口圭三

